

木津川市の公共交通に係る
総合的な計画（仮称）【中間案】
《要約版》

平成 26 年 12 月
木津川市

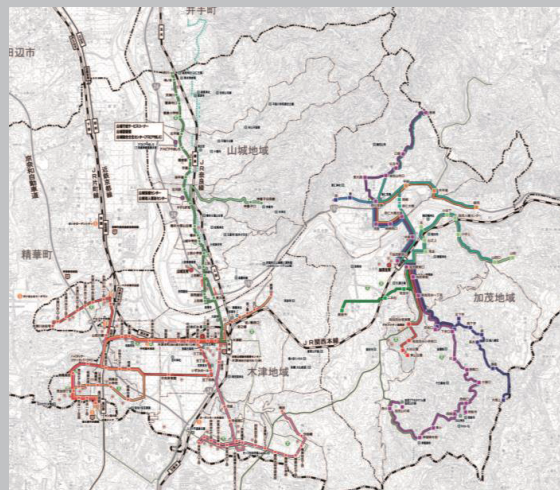
《計画の策定にあたって》

持続可能な公共交通を構築することを目的とし、これまでの取組みを整理し、変化する地域のニーズに応じた効果的・実践的な移動手段の確保に取り組むため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき本計画を策定します。

1. 計画の基本方針

■ 地域特性に応じた利便性の高い地域公共交通体系を構築することにより、活力と魅力ある地域づくりを目指します。

■ 鉄道・バス・タクシー等が連携し、利用しやすく満足度の高い持続可能な地域公共交通づくりに取り組みます。



2. 計画の目標

地域公共交通が連携しサービスを改善・推進するとともに、公共交通に関する情報提供を充実・発信すること、より多くの人に公共交通を利用していただくことを目指します。

■ 利用者数

減少傾向にあるコミュニティバスの利用者数を増加させ、30万人（平成32年度）にします。

■ 総合的な満足度

公共交通に係る市民アンケート調査の「公共交通に係る総合的な満足度」の加重平均値を3.30（平成32年度）にします。

■ 通勤・通学の満足度

総合計画後期基本計画策定時に実施した市民アンケート調査の「通勤通学の便利さに対する満足度」を39.7%（平成32年度）にします。

計画の目標値

指標1 【年間利用者数】	実績値					目標値 H32
	H21	H22	H23	H24	H25	
コミュニティバス 年間利用者数(人)※1	390,474	311,114	283,333	283,029	274,324	300,000

※1 「第1次木津川市総合計画（後期基本計画）」における施策26 地域公共交通ネットワークの充実の成果指標においても記載。

指標2 【満足度】	実績値		目標値 H32
	H19	H26	
市民アンケートにおける 総合的な満足度※2	2.89	3.09	3.30

※2 アンケート回答より、非常に満足=5点、満足=4点、どちらともいえない=3点、不満=2点、非常に不満=1点として加重平均値を算出

指標3 【満足度】	実績値 H25	目標値 H32
	34.7%	39.7%
市民アンケートにおける 通勤・通学の便利さに対する満足度		

3. 期待する役割

市民、交通事業者、行政（木津川市）がそれぞれの役割を果たし、共に協力することで、本計画の事業を効果的に実施します。

■ 市民

公共交通の積極的な利用、利用促進施策の活用や主体的な利用促進に取り組めます。

■ 交通事業者

確実な運行事業を実施しながら、利用者数増加のための施策の協力及び提案をします。

■ 行政（木津川市）

主体的に事業を実施するとともに、関係機関や各主体と連携を図ります。



4. 公共交通の課題

木津川市における地域状況の変化、公共交通に係るアンケート調査結果やワークショップでいただいた意見等から、木津川市が抱える公共交通の課題を抽出しました。

■ 確実な公共交通サービスの提供

アンケート調査やワークショップでは、コミュニティバスを必要とされる方、必要とされない方双方の意見があり、これらを集約しながら持続可能な公共交通を構築する必要があります。

■ 利用しやすい公共交通サービスの提供

予約型乗合タクシーの利用者からは、「予約が難しい」などの意見をいただいております、利用方法のさらなる周知が必要です。また、利用しやすい公共交通として、バリアフリー化の検討が必要です。

■ 利用者減少への対応

コミュニティバスの利用者は、減少傾向しており、利用促進策を通じて利用者減少の歯止めや新たな利用喚起施策の検討が必要です。

■ 各主体が連携した公共交通づくり

公共交通サービスを持続可能なものとしていくため、市民、交通事業者、行政が一体となって取り組む必要があります。



5. 実施する事業

抽出した課題を解決するため、次に掲げる7事業を実施することとし、持続可能な公共交通を構築します。

■ コミュニティバスの運行

市民の日常の移動手段である、きのつバス、かもバス、やましろバス運行事業を継続します。

■ 乗継利便性の向上

鉄道ダイヤに合せたダイヤ改正を実施し、スムーズな乗継ぎ環境を実現します。

■ 車両の利便性の向上

バリアフリー車両導入検討や運行車両デザインを検討し、利用しやすいコミュニティバスを目指します。

■ 情報提供の充実

公共交通に係る情報提供の充実及び意識喚起を行うため、多くの媒体を活用し積極的な広報に努めます。

■ 利用機会の提供

公共交通利用のきっかけづくりや体験の場を提供するため、体験学習などのイベントを実施します。

■ 市民意識の変革

ワークショップや乗り方教室を実施し、利用の働きかけを行うとともに、地域住民が公共交通を守り育てる意識の向上に努めます。

■ 魅力の発信

公共交通を活用した周遊を促進するため、市外からの来訪者への利用促進を図ります。

6. 事業の評価

事業の評価を行うことで進捗状況を確認し、必要に応じて計画の変更等を行います。

■ P D C A サイクルの実施

事業の実施状況や目標の達成状況について、計画及び事業が効果的・効率的に進捗しているかといった視点から事業評価シートに基づき、定期的な評価を行います。

事業評価シート		
事業実施概要		
事業計画	事業名を記載	
事業主体	木津川市、木津川市地域公共交通総合連携協議会、等、関係する事業主体を記載	
事業関係者	事業関係者を記載	
事業目標	事業の目標を具体的に記載。	
事業内容	H27 H27	〇〇を検討 〇〇を実施 △△を実施 等、事業実施経過や内容等を記載
課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
〇〇〇〇	本計画記載の地域公共交通の課題それぞれの観点から、取組成果と課題を整理する。	
〇〇〇〇…		